

【平成29年度】8月～9月

■平成29年8月17日（木） 1年生メンバー4名参加。

夏休みに入って2回目のハセック活動日でした。今回は、洋楽“sing”（カーペンターズ）を使って、テーマを「音楽」としました。

先ず、歌詞カードの空所補充をした後、‘Music’で始まる即興英文や、「学校の音楽室での教師と生徒との話のやりとり」を想定したスキットを作成しました。助動詞の過去形の聞き取りはどの生徒も難しかったらしく、‘could’を正しく補充できた者はいませんでした。

しかし、即興英文では、Music makes us feel happy. / Music is powerful. など、メンバーの音楽観を大切にした発表となり、スキットでは場面転換を巧みに考えた個性的な仕上がりとなりました。

残り時間は、2学期からニア先生の後任として来校される新しいALTの先生を迎えるに当たっての準備をしました。



■平成29年8月23日（水） 1年生メンバー4名、2年生メンバー2名、3年生メンバー1名参加。

本日、初めてマリー先生を学校にお迎えしました。午前中は、校長先生への挨拶や事務手続きがあり、午後はHASECに来てくださいました。夏休みでしたが7名が集まり、アットホームな初顔合わせとなりました。

お互いの自己紹介のあと、メンバー達は、パワーポイントが使えないというアクシデントにも負けず、近江八幡市と八幡高校のことについて、7月の文化祭での発表を思い出しながら、頑張って英語で説明をしていました。

その後、校舎の案内はじめ、マリー先生を他の先生方に紹介するという、教室を出た場所での実践的な英語を練習しました。

2学期の最初のHASEC活動が、今から本当に楽しみになってきます。



■平成29年8月30日（水） 大阪イングリッシュビレッジ特別研修

1年生メンバー6名、2年生メンバー4名、3年生メンバー2名参加。

今回、HASEC初の取り組みとして、昨年、大阪府茨木市のエキスポシティにオープンした、大阪イングリッシュビレッジでの現地研修をおこないました。

当館には、レストラン、郵便局、銀行、調理室、旅行代理店など、23のシチュエーションルームがあり、入場者は、ネイティブの先生から英語のみで、それぞれのルームの特徴に沿った内容や話題について、ユーモアも交え、レベル別にレッスンを受けられます。

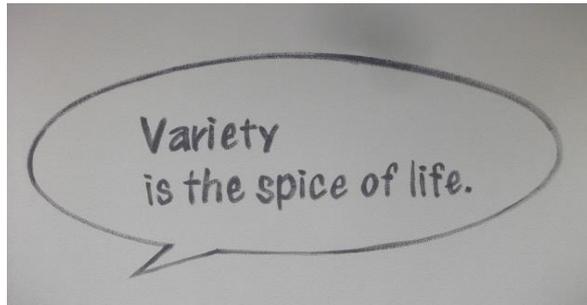
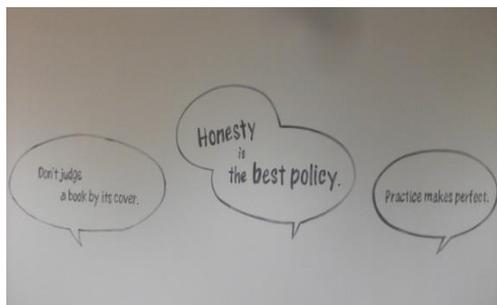
幸運にも、今回は夏休みの終盤とあって、それほど混雑していませんでした。HASECメンバー達は、自らの興味関心に応じて、3つのシチュエーションルームを訪れ、知的好奇心を全面に出して、元気よくレッスンを受けてきました。

以下、参加生徒の感想の一部を掲載しておきます。

- ・ネイティブの先生と実際の会話をすることで、今まで覚えることを目的とした「単語」が「文」になって登場し、よく理解することができました。
- ・スタッフの方が気さくで、英語が分からないなと思っても、優しく分かりやすく教えてくれるので、理解できたし、楽しいレッスンでした。
- ・旅行代理店のルームは結構難しかったけれど、外国人の話し方とか、内容がめっちゃ面白かった。会話の中の相槌も、日米で違うことが印象的でした。
- ・普段の英語学習では学べないことがたくさんあって、楽しく思い出になりました。
- ・とてもフレンドリーな先生ばかりで話しやすかった。
- ・これからもHASECでこのような活動を多く取り入れてほしいと思います。
- ・GOLD RUSHを扱った部屋に行きました。小学生くらいの子が私より先にインストラクターの質問に答えていて、悔しかったです。また機会があれば訪れたいです。
- ・初級クラス以外でも、一緒の部屋にいたのが小学校低学年以下の子も達ばかり

りだったので、どうしようかと思っていたけれど、思ったよりも話せてとても楽しかった。自分の発音に自信がなくても、“Oh! yeah!”などと返してもらるので、それが何より嬉しかった。

- ・どのレッスンでも新しいことが学べた。「調理室」と「レストラン」では、インストラクターが日本語の分からない方だったが、私も英語でどうにか伝えようとして伝わったので、とても嬉しかった。





今回は主に、「聞く」「話す」の2技能に絞った研修となりました。館内の壁には、Honesty is the best policy./ Variety is the spice of life.などのポスターも掲示してあり、入場者の学習意欲をかき立てる様々な工夫があちこちに見られました。

普段、教室で行われる英語授業とは違って、斬新な学習ルームの雰囲気や初顔合わせとなるネイティブの先生との新鮮な対話という学びの環境の下、外国文化への興味をさらに深められたことはもちろん、2学期からの英語学習に向けての課題発見や向学心アップに繋がったことでしょう。

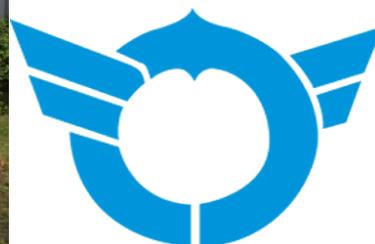


■平成29年度 2学期～

マリー先生、ようこそ八幡高校へ！！

この度、ニア先生の後任として、マリー先生が本校に着任されました。カナダのケベック州出身です。高校生のときから日本はもとより、アジア各国に興味があり、大学時代には関西外国語大学で留学生として8ヶ月間学んだこともあるそうです。もちろん、フランス語も堪能です。

たいへん知的好奇心が旺盛な先生で、八幡高校での勤務を楽しみにしておられます。HASECのメンバーを、ますます面白いイングリッシュ・ワールドに導いていただくとともに、滋賀県とカナダとの「架け橋」の役目も、担ってくださいればと、期待が膨らみます。マリー先生、どうぞよろしくお願ひします！



■平成29年9月6日（水） 1年生メンバー3名、2年生メンバー2名、教育実習生参加。

今日は2学期最初のハセック活動日でした。やや少ない出席でしたが、着任されたばかりのマリ先生にも参加していただきました。

簡単な自己紹介のあと、先ず、夏休みの体験談を英語で一人ずつ報告をしました。親戚の住む大阪へ行ったこと、友人と花火大会に行ったこと、バーベキューをしたことなど、心に残っているシーンを思い出しながら、頑張って英語で発表しました。

そのあと、マリ先生に改めて自己紹介をしていただき、そのあとメンバーが一人ずつ質問をしていきました。

「一番好きな日本の食べ物は？」の質問に対しては、「お好み焼」と元気よく答えておられました。「たこ焼」や「広島焼」などとの違いも熟知されていて、「日本通」のイメージが早速浸透していきました。

「高校時代に熱心に取り組んだことは？」の質問については、「マンガやアニメが大好きでした」とのこと。職員室でも、初日から、空き時間を見つけては、持参したパソコンでグラフィックデザインに取り組んでおられ、これからの授業やハセック活動が楽しみになってきます。



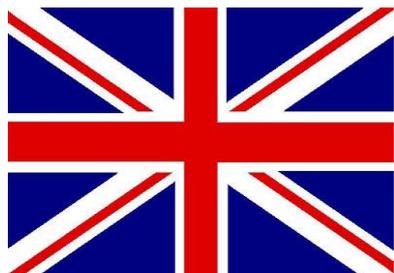
あと、趣味はウォーキングなどで体を動かすことで、カナダでも森林の散策などを楽しんでおられたようです。弓道や書道にも興味があるとのこと、日本滞在中に思う存分学んでいただきたいものですね。

山下莉采さん（2年生メンバー）、イギリスを語る

7月21日（金）～8月4日（金）までの間、滋賀県高校生海外体験プログラム（県教委事業）に参加し、イギリスで研修を受けてきた2年生メンバーの山下莉采さん（立命館守山中出身）も、簡単に報告をしてくれました。

まず、研修で訪れたのは、Paignton(ペイントン)というロンドンから車で1時間ほどの街。現地では、参加生徒が一人ずつ、別々のホストファミリーに滞在していたため、英語を使う機会(日本語が通じない空間)が多く、自分自身、たいへん成長できたということでした。

現地での語学学校では、英語の基礎以外にも、社会や文化について幅広く学べて充実していたとのことでした。



また、ブリティッシュ・ティーの美味しさが魅力で、習慣的に飲むようになっていたこと、ホストファミリーらと行った動物園やディスコ、ウィンザー城見学など、楽しい思い出を笑顔で語ってくれました。

本当に、貴重な経験になったと思います。

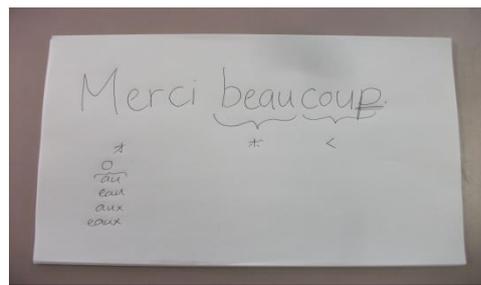
日本の中学校、高校で学ぶ英語の8~9割はアメリカ英語と言われているように、普段の英語の授業であまり聞かない英語に出会ったり、違った意味で使われる単語に戸惑ったことがあったかもしれません。しかし、英語のルーツを辿るという意味でも、たいへん意義深い研修になったことでしょう。今後の英語学習にも、是非活かしてほしいものです。

■平成29年9月13日(水) 1年生メンバー2名参加。

今日は少ない参加人数でしたが、英語教室内の勉強熱は燃えていました。

まず、フランス語の話になり、マリ先生から簡単なフランス語会話の紹介をしていただいたあと、ポルトガル語との比較など、珍しいウォームアップをおこないました。

内容としては、マリ先生の出身国カナダの音楽をテーマとし、カナダ出身のアーティストの曲を聴き、シャナイア・トゥエイン、ブライアン・アダムズ、セリーヌ・ディオーンなど、80年代に遡った懐かしいナンバーから最近のロッ



クまで、幅広く紹介してくださいました。

メンバーは、流れた歌詞内容の意味を随所で質問し、マリー先生からのわかりやすい解説に興味津々でした。

音楽で英語を楽しみながら、英語学習に弾みをつけることは素晴らしいことだと思います。